

We create chemistry

### 除草剤

# **リ**じスタ 液剤®=BASF社の登録

除草剤分類 10

有効成分

グルホシネート ...... 18.5%

登録番号: 第20958号

毒性:普通物\* 有効年限:4年

包 装:500m2×20本

1 ℓ×12本

2.2 l×6本(系統のみ)

5 ℓ×4本

10 e×2本(系統のみ)



\*普通物:毒劇物に該当しないものを指していう通称

#### ■特長

**●多くの作物に登録があります。** 

現在の登録数は90作物以上と、多くの作物に登録があります。

- ●人・作物・土・環境に優しい除草剤です。
  - ・バスタは使う人への安全性が高い(普通物)だけでなく、作物には直接薬液がかからなければ影響がありません。地面に落下した有効成分は、土壌微生物によりすばやく分解されるので、土にも環境にもやさしい除草剤です。
  - ・地面に落下したグルホシネート(バスタ液剤の有効成分)は、土壌中の微生物によって速やかに分解され、最終的には「炭酸ガス」「リン酸」「水」に変化します。土壌中に有効成分が残留・蓄積する心配はありません。
- ●幅広い種類の雑草に高い効果があります。

イネ科、広葉、一年生、多年生を問わず、ほとんどの雑草に高い効果を示します。

●効果の発現が速く、長期間抑草します。

散布後2~5日で効果が発現し、7~14日後効果が完成します。

作物名	適用	適用雑草名	使用時期	使用	用量	本剤の	使用	グルホシネート及びグ ルホシネートPを含む
1F初石	場所	<b>旭川椎早石</b>	使用时别	薬量	希釈水量	使用 回数	方法	農薬の総使用回数
	_		は種前 (雑草生育期)	300~ 750ml /10a		10		
小麦			は種後出芽前 (雑草生育期)					
	圃場内の 周縁部		収穫7日前まで (雑草生育期)			3回以内		   4回以内  (は種後は3回以内)
	_		は種前 (雑草生育期)		100~	10		(16年度160日以下3)
大麦		一年生雑草	は種後出芽前 (雑草生育期)	300~ 500ml	150ℓ /10a			
	圃場内の 周縁部	<b>一一</b> 本在十	収穫7日前まで (雑草生育期)	/10a				
	_		は種前 (雑草生育期)					
そば			は種後出芽前 (雑草生育期)					
	圃場内の 周縁部		収穫前日まで (雑草生育期)					
				300~ 500ml /10a	通常散布 100~ 150ℓ /10a		雑草 茎葉 散布	
かんきつ		多年生雑草	収穫21日前まで (雑草生育期: ****	500~ 1000ml /10a	少量散布 30~ 40 ℓ /10a	OENT		
りんご		一年生雑草	草文30cm以下)	300~ 500ml /10a		3回以内		3回以内
9700	_	多年生雑草		500~ 1000ml /10a				
ぶどう なし おうとう かき		一年生雑草		300~ 500ml /10a	100~ 150ℓ /10a			
もも 小粒核果類 ネクタリン ブルーベリー		多年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期: 草丈30cm以下)	500~ 1000ml /10a				
いちじく		一年生雑草		300~ 500ml /10a				

<i>U</i> −₩ <i>n</i> <7	適用	帝田妣芸石	/本 CD N土 VD	使月	用量	本剤の	使用	グルホシネート及びグ
作物名	場所	適用雑草名	使用時期	薬量	希釈水量	使用 回数	方法	ルホシネートPを含む 農薬の総使用回数
びわ		一年生雑草	収穫21日前まで (雑草生育期:	300~ 500ml /10a				
キウイフルーツ		多年生雑草	草丈30cm以下)	500~ 750m /10a				
いちょう		一年生雑草	収穫14日前まで	300~ 500ml /10a		3回以内		2回N4
(種子)		多年生雑草	· (雑草生育期: 草丈30cm以下)	500~ 1000ml /10a		3四以內		3回以内
<b>&lt;</b> 5		一年生雑草	収穫30日前まで (雑草生育期:	300~ 500ml /10a				
6 / 9		多年生雑草	草文30cm以下)	500~ 750ml /10a				
キャベツはくさい			収穫45日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)			2回以内		2回以内
うり類 (未成熟)	_		収穫前日まで (雑草生育期 は種・定植前 又は畦間処理)		100~ 150ℓ /10a		雑草 茎葉 散布	
なす ピーマン とうがらし類 トマト ミニトマト			収穫前日まで (雑草生育期			3回以内		3回以内
いちご すいか ねぎ たまねぎ ブロッコリー		一年生雑草	定植前又は 畦間処理)	300~ 500m0 /10a				
だいこん			収穫45日前まで (雑草生育期 は種前又は 畦間処理)			2回以内		2回以内
はつかだいこん たかな ほうれんそう みつば			収穫7日前まで (雑草生育期 は種前又は 畦間処理)					
みしまさいこ			W主旧汉史王/			3回以内		3回以内
メロン レタス 非結球レタス かぼちゃ			収穫30日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)			2回以内		2回以内

lb-tha £7	適用	`÷П₩##	/± m n + +n	使月	用量	本剤の	使用	グルホシネート及びグ				
作物名	場所	適用雑草名	使用時期	薬量	希釈水量	使用 回数	方法	ルホシネートPを含む 農薬の総使用回数				
ごぼう にんじん オクラ							収穫前日まで (雑草生育期 は種前又は 畦間処理)			2回以内		2回以内
アスパラガス			収穫前日まで (雑草生育期 萌芽前又は 畦間処理)			2回以内		2回以内				
			収穫打切り後 (雑草生育期)	300~ 500ml /10a								
さといも やまのいも			収穫30日前まで (雑草生育期 植付前又は 畦間処理)	, 1 <b>G</b> u		3回以内	雑茎散草葉布	3回以内				
さといも (葉柄)			収穫7日前まで (雑草生育期 植付前又は 畦間処理)					om»,				
かんしょ			収穫14日前まで (雑草生育期 挿苗前又は 畦間処理)	200~ 500ml /10a		2回以内		2回以内				
こんにゃく	_		雑草生育期 植付前又は 植付後萌芽前	200~ 300ml /10a	100~ 150ℓ /10a	2回기本		3回以内				
CNICT			収穫30日前まで (雑草生育期 畦間処理)	300~ 500ml /10a		3回以内						
ばれいしょ			雑草生育期 植付前又は 植付後萌芽直前	100~ 200m0 /10a		10	回以内	3回以内 (萌芽前は1回以内、 萌芽後は2回以内)				
13410103			収穫21日前まで (畦間処理: 雑草生育期)			2回以内						
			は種前 (雑草生育期)									
豆類(種実、ただし、			定植5日前まで (雑草生育期)	300~ 500ml								
だいずを除く)			収穫28日前まで (畦間処理: 雑草生育期)	/10a		3回以内		3回以内				
だいず			は種前 (雑草生育期)									
だいず			は種後出芽前 (雑草生育期)									

Un Ha &	適用	· 帝田妣芸名	/± CD (1± \(\frac{1}{2}\)	使用量		本剤の使用		グルホシネート及びグ
作物名	場所	適用雑草名	使用時期	薬量	希釈水量	使用 回数	方法	ルホシネートPを含む 農薬の総使用回数
			定植5日前まで (雑草生育期)					
だいず			収穫28日前まで (畦間処理: 雑草生育期)					
			収穫28日前まで (株間処理: 本葉5葉期以降 雑草生育期)					
豆類 (未成熟、 ただし、 えだまめを 除く)			収穫前日まで (雑草生育期 は種・定植前 又は畦間処理)			3回以内	雑茎葉布	3回以内
			は種前 (雑草生育期)					
		一年生雑草	は種後出芽前 (雑草生育期)					
えだまめ			定植5日前まで (雑草生育期)	300~ 500ml /10a	100~ 150ℓ /10a			
	_		収穫前日まで (畦間処理: 雑草生育期)					
なばな類			収穫21日前まで (雑草生育期 は種・定植前又は 畦間処理)					
			は種前 (雑草生育期)			2回以内		2回以内
かぶ			定植前 (雑草生育期)					
			収穫21日前まで (畦間処理: 雑草生育期)					
			は種前 (雑草生育期)					
にら			定植前 (雑草生育期)			3回以内		3回以内
			収穫前日まで (畦間処理: 雑草生育期)					
ほうきぎ			収穫21日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)			3回以内		3回以内

作物名	適用	適用雑草名	使用時期	使月	用量	本剤の 使用	使用	グルホシネート及びグ ルホシネートPを含む
TF189°L	場所	20717年十二	IZ/IIVJ <del>/</del>	薬量	希釈水量	回数	方法	農薬の総使用回数
にんにく			収穫前日まで (雑草生育期			2回以内		2回以内
しょうが			植付前又は 畦間処理)			3回以内		3回以内
葉しょうが			収穫14日前まで (雑草生育期 植付前又は 畦間処理)	300~	100~			
	_	一年生雑草	は種前 (雑草生育期)	500~ 500ml /10a	150 l   /10a	2回以内		2回以内
食用ぎく			定植前 (雑草生育期)					
			収穫14日前まで (畦間処理: 雑草生育期)					
水田作物			耕起15日前まで (雑草生育期)			10		10
水田作物(水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草 多年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期: 草丈30cm以下)	500~ 1000ml /10a	通常散布 100~ 150 l /10a 少量散布 30~ 40 l /10a	2回以内	雑草 茎 散 布	2回以内
水田作物 畑作物 (休耕田)	休耕田		雑草生育期 (草丈50cm以下)			3回以内		3回以内
水田作物 (水田刈跡)	水田刈跡		雑草生育期			10		10
セルリー		一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)	300~ 500ml /10a		3回以内		3回以内
さんしょう (果実)		多年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期: 草丈30cm以下)	500~ 750ml /10a	100~ 150ℓ /10a			
みょうが (花穂)	_		収穫7日前まで (雑草生育期萌芽前 又は畦間処理)			2回以内		2回以内
みょうが (茎葉)		一年生雑草	みょうが(花穂)の 収穫7日前まで、 ただし、花穂を収穫 しない場合にあっ ては開花期終了ま で(雑草生育期萌芽 前又は畦間処理)	300~ 500ml /10a				

Ur Wa Ar	適用	·帝中州	/# CD N± OF	使月	用量	本剤の	使用	グルホシネート及びグ					
作物名	場所	適用雑草名	使用時期	薬量	希釈水量	使用 回数	方法	ルホシネートPを含む 農薬の総使用回数					
しそ							(雑草生育期	は種・定植前又は			2回以内		2回以内
しそ (花穂)			収穫14日前まで (雑草生育期 は種・定植前 又は畦間処理)					乙回以下3					
食用桑(葉)食用桑(果実)			収穫45日前まで (雑草生育期 春期萌芽前及び 夏切り後萌芽前)			3回以内		3回以内					
パセリ			収穫3日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)			2回以内		2回以内					
モロヘイヤ			収穫3日前まで (雑草生育期 は種・定植前 又は畦間処理)					드데以٢3					
もりあざみ			収穫30日前まで (雑草生育期 は種前又は 畦間処理)	300~	100~	3回以内	雑草	3回以内					
ふき	_	一年生雑草	収穫120日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)	500ml /10a	150 l /10a		茎葉 散布						
ふき (ふきのとう)			収穫75日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)			2回以内		2回以内					
たけのこ			収穫30日前まで (雑草生育期: 草丈30cm以下)										
たらのき			収穫45日前まで (雑草生育期: 植付前又は 畦間処理)			3回以内		3回以内					
なたね			収穫30日前まで (雑草生育期: は種前又は 畦間処理)			10		1 🗇					
茶			摘採7日前まで (雑草生育期 畦間処理)			2回以内		2回以内					
花き類・ 観葉植物			雑草生育期 畦間処理 (草丈20cm以下)			3回以内		3回以内					

作物名	適用	適用雑草名	使用時期	使月	用量	本剤の 使用	使用	グルホシネート及びグ ルホシネートPを含む			
TF初石	場所	週川粧早石	)	薬量	希釈水量	回数	方法	農薬の総使用回数			
樹木類	_		−年生雑草 雑草生育期	300~ 500ml /10a	100~ 150ℓ /10a		雑茎散 植地除樹等周地雑茎散草葉布 栽をく木の辺に草葉布	3回以内			
樹木等	な 庭 堤 車 道 動 地 面 等 の 鉄 道 動 地 面 等	一年生雑草		500~ 1000ml /10a	100~ 200 l /10a	3回以内					
<b>でいいな</b>		多年生雑草		1000~ 2000ml /10a							
日本芝 (こうらいしば)			雑草生育期 芝休眠期	300~ 500ml /10a							
						植付10日前まで (雑草生育期)	200~		10		10
たばこ			大土寄期 (雑草生育期 畦面・畦間処理)	300ml /10a							
桑	_	一年生雑草	雑草生育期 春期萌芽前及び 夏切り後萌芽前		100~ 150ℓ /10a		雑草 茎葉 散布				
とうき			収穫30日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)	300~ 500ml /10a		3回以内		3回以内			
とうき(葉)			収穫7日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)								

#### マイナー作物等の登録拡大に伴いグループ化した作物名

グループ化した作物名	含まれる作物(品種)
小粒核果類	あんず、うめ、すもも
とうがらし類	甘長とうがらし、かぐらなんばん、きだちとうがらし、ししとう、 とうがらし、ハバネロ、ピカンテ
非結球レタス	かきちしゃ、サラダ菜、立ちちしゃ、美味タス、リーフレタス
豆類(種実)	あずき、いんげんまめ、えんどうまめ、ささげ、そらまめ、だいず、 なたまめ、ふじまめ、べにばないんげん、らっかせい
なばな類	あさまこな、あすっこ、アレッタ、おおさきな、太田かぶ、 オータムポエム、大月菜、大野菜、かいらん、かきな、勝山水菜、 くきたちな、ケールッコラ(なばな的栽培)、こうさいたい、 こまつな(なばな的栽培)、さいしん、三景雪菜、四川児菜、 たべたい菜、チーマデラーパ、チンゲンサイ(なばな的栽培)、 チンゲンルッコラ(なばな的栽培)、摘菜花、つぼみな、なばな、 のらぼうな、博多蕾菜、はくさい(なばな的栽培)、 はたけな(なばな的栽培)、はなっこり一、みずかけな、めいけな

農薬登録における作物群の作物名について(2021年1月14日改正)「農薬の適用病害虫の範囲および使用方法に係る適用作物等の名称について」(2019年3月29日付け30消安第6281号農林水産省消費・安全局農産安全管理課長通知)農林水産消費安全技術センターホームページをご参照ください。

http://www.acis.famic.go.jp/shinsei/6281.pdf

表の使用に際しては以下の事項に留意してください。

- 注1 現在、農薬の適用作物には含まれていない作物を含みます。適 用作物に含まれていない作物については、農薬登録時にその 名称が変更される場合があります。
- 注2 品種名及び栽培条件(施設栽培等)等については省略している場合がありますが、農薬登録時に品種名又は栽培条件等の指定がある場合は、当該品種又は栽培条件等にのみ使用できるものです。

#### ↑ 効果・薬害等の注意事項

- ●使用量に合わせ薬液を調製して、使いきってください。展着剤は必要ありません。
- ●本剤は土壌に落下すると速やかに不活性化し、効果を発現しないので薬液が雑草の茎葉全体に均一にかかるように散布してください。また、雑草が大きくなりすぎると効果が低下するので時期を失しないように散布してください。草丈15~30㎝を目安に散布してください。
- ●散布後6時間以内の降雨は効果を減ずることがあるので、天候をよく見極めてから散布してください。
- ●植物に薬液が付着すると薬害が生ずるので、散布液が付近の農作物、樹木の茎葉に飛散しないように散布してください。特に、野菜類の生育期畦間散布や水田畦畔で使用する場合は作物にかからないように十分注意して散布してください。
- ●少量散布の場合は専用のノズル(30~40ℓ/10a)を使用してください。
- ●芝に散布する場合、生育中の芝には薬害を生じるので使用しないでください。また、芝の休眠直後や萌芽期に近くなってからの散布では萌芽抑制など薬害を生じることがあるので、芝が完全に休眠している時期に散布してください。
- ●だいずの畦間・株間処理に使用する場合、噴口はできるだけ低くし、本葉にかからないように散布してください。

- ●本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- ●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ●水源池等に本剤が飛散、流入しないように十分に注意してください。
- ●散布器具、容器等の洗浄水は河川等に流さず、空容器はほ場などに放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- ●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

## ▲ 安全使用上の注意事項 🕝 🜓 🎧

- ●公園、堤とうなどで使用する場合は、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- ●水源地等に本剤が飛散・流入しないように十分に注意してください。
- ●散布器具、容器等の洗浄水は河川等に流さず、空容器は圃場などに放置せず、環境に影響を与えないように適切に処理してください。
- ●本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- ●本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には 直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- ●散布の際には防護マスク、不浸透性防除衣などを着用してください。散布液を吸い込んだり、浴びないように注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがい、洗眼してください。

さらに詳しい製品情報はこちらから

※QRコードを読み込む、 またはクリックしてください。



バスタ専用製品ペーシ